

# 医療安全国際教育セミナー2012 in ロンドン

- 医療安全の本家国より (英国医療安全のオールスター・プログラム) -

会期: 2012年5月2日(水) ~ 4日(金)

会場: ロンドン大学、英国

主催: 国際予防医学リスクマネジメント連盟 (URMPM)

受講対象者: 学会員、医療施設経営者、専従医療安全管理者、専任医療安全管理者、リスクマネージャー、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、放射線技師、臨床検査技師、医療事務関係者、医療産業界関係者、その他。

概要: 本プログラムは、厚生労働省の診療報酬改定による「医療安全対策」として診療報酬申請に加算する際に、加算の対象となる2011年度の研修教科内容(年間40時間以上)の1部にもなります。全世界の医療機関を対象にしており、講演はすべて英語で、日本語通訳はありません。参加者には受講証を発行します。日本での開催は行いません。

## 2012年5月2日(水) 午前10時~午後4時30分 (英国の医療安全文化の過去と現状)

午前 10:00 - 午前 12:00 「医療安全: 評価と発展」  
Charles Vincent ロンドンインペリアル大学臨床安全研究教授、英国  
午後 1:30 - 午後 3:00 「クリニカルガバナンスと医療安全」  
Aidan Halligan ロンドン大学病院医学教育教授、英国政府クリニカルガバナンス初代部長、英国  
午後 3:30 - 午後 4:30 (基調講演) 「病院のリスクマネジメント」  
Sir Brian Jarman ロンドンインペリアル大学名誉教授、英国医学会元会長、英国

## 2012年5月3日(木) 午前10時~午後4時30分 (医療安全の技術と芸)

午前 9:00 - 午前 9:50 「臨床チームはいかにしてチーム状況認識(Team Situation Awareness; TSA)を創設、維持しているのか? なぜこれが問題なのか?」  
Della Freeth ロンドン・クウィーン・メアリー医科歯科大学医学教育教授、英国  
午前 10:00 - 午前 12:00 (記念講演) 「ヒューマンエラー: そのモデルとマネジメント」  
James Reason マンチェスター大学名誉教授、英国  
午後 1:30 - 午後 2:20 「医薬品安全、技術ならびに標準化」  
Bryony Dean Franklin ロンドン大学薬学部医薬品安全管理教授、大英連邦医療安全総督元委員、英国  
午後 2:30 - 午後 3:20 「医薬品安全管理と健康情報技術」  
Eric Poon ハーバード大学ブラインガム婦人科病院医薬品安全部長、米国  
午前 10:00 - 午前 12:00 「外科における安全管理」  
Peter McCulloch オックスフォード大学ジョンラドクリフ病院外科医療安全室長、英国

## 2012年5月4日(金) 午前10時~午後4時30分 (リスクコミュニケーションと臨床コミュニケーション)

午前 9:00 - 午前 10:20 ) 1) 医療安全のための効果的な教育方法について  
2) 実施した安全教育の治療効果への確認方法について  
John Sandars リード大学医学教育上級講師、英国  
午前 10:30 - 午前 12:00 「21世紀のリスクコミュニケーション」  
Ragnar Lofstedt 王立ロンドン大学リスクマネジメントセンター長、同教授、英国  
午後 1:30 - 午後 2:10 「リスク管理サイクルと緊急時管理サイクル」  
酒井 亮二 国際予防医学リスクマネジメント連盟 (URM 午後) 会長  
午後 2:30 - 午後 4:30 「臨床におけるコミュニケーションエラーと医療安全」  
荒木 登茂子 九州大学医学部臨床コミュニケーション学教授、日本

登録締め切り: 2012年4月24日

定数になり次第、受付を締め切ります。

登録料は下記をご覧ください。

医療安全国際教育セミナー2012

国際予防医学リスクマネジメント連盟本部

〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102

〒113-0033 東京都文京区本郷4-36-2-103

(Tel / Fax) 03-3817-6770

(電子メール) [urmpm.office@gmail.com](mailto:urmpm.office@gmail.com)

(セミナーホームページ)

<http://www.urmpm.org/IESRE2012May/j/>